

日立市立学校適正配置基本方針(素案)に関するパブリックコメントの結果について

- 1 実施期間 平成29年10月20日(金)～12月26日(火)
- 2 実施方法 地域懇談会、ホームページ、市P連会長会議等における意見募集
意見募集シートに記入し、郵送又はFAX、Eメールで提出
- 3 意見提出人数 34人
- 4 意見の分類

意見の分類			人 数
(1)	日立市の基準に関する意見		
	ア	日立市の基準に関すること	11人
	イ	学校の規模に関する意見	4人
	ウ	学級の規模に関する意見	2人
(2)	取組に当たっての留意事項に関する意見		
	ア	通学に関する意見	7人
	イ	地域への配慮に関する意見	4人
(3)	その他		
	ア	小規模校に関する意見	6人
	イ	児童生徒のケアに関する意見	5人
	ウ	適正配置計画に関する意見	7人
	エ	その他	
		(ア) 学区の見直しに関する意見	4人
		(イ) 統合に関する意見	5人
		(ウ) 教員に関する意見	4人
		(エ) PTA活動に関する意見	4人
		(オ) 財政に関する意見	3人
		(カ) その他	19人

※ 表中の「人数は」、1人が複数の意見を述べているため、実人数とは合っていない。

5 主な意見 ※末尾のカッコ内は、意見提出者が居住する小学校区

(1) 日立市の基準等に関すること

ア 日立市の基準(各学年：小学校2学級以上、中学校3学級以上)について

- (ア) 学年のクラス数はある程度の数があり、クラス替えによりいろんな人との関わりができることが大切だと思う。(大久保)
- (イ) 単学級ならではの良いところもたくさんあると思う。学校の特性を大事にしてほしい。(中小路)
- (ウ) 学校は勉強だけではなく、人間形成の大切な場所。幅広く豊かな教育が受けられるように、余裕のある教員配置、教育環境を整えてほしい。(滑川)
- (エ) 「基本的な考え方」で長期的に学校運営が継続できることを望む。(東小沢)

イ 学校規模について

- (ア) 小規模校には小規模校の良さがある。(助川、会瀬、中小路、東小沢、)
- (イ) 分校制を導入できないか。小学校低学年は、保護者の目の届くところで学ぶことができ、地域の集まり場所となる学校も残せる。(坂本)
- (ウ) 適正配置をして規模の小さい学校が適正な人数になることにより、得られる効果が非常に高いことがよく分かった。子どもを学校に通わせていると、コミュニケーションの取り方が大事だと感じるので、しっかり仲良くして、しっかりけんかもして育ってほしい。(会瀬)
- (エ) 適正な学校規模を確保した場合の期待だけでなく、きちんとデメリットの方も考えていかななくてはならない。(会瀬)

ウ 学級規模について

- (ア) 全国的に人口減少しているのだから、1クラスの人員数の見直しをするべきだと思う。(中小路)
- (イ) 1クラスの児童の人数を30人以下に。(田尻)

(2) 取組に当たっての留意事項に関すること

ア 通学距離について

- (ア) 通学路の安全性や通学距離など、子どもたちにとって心身の負担になることのないように配慮してほしい。(助川、会瀬、中小路)

(イ) 適正配置後の通学距離、時間、通学方法、安全面などが気になる。友達とおしゃべりしながら歩いて帰る時間も貴重だと思う。(会瀬)

(ウ) 遠くなってしまった場合は、スクールバス等が出るのか。(会瀬)

イ 地域への配慮について

(ア) 学区の再編には、コミュニティとの調整も必要だと思う。(塙山)

(イ) 廃校後の学校跡地の活用・整備方法も合せて説明してほしい。放置されると治安の悪化が懸念される。(東小沢)

(ウ) 学校が統合されることで、災害時の避難場所が変更になるのか不安だ。(会瀬)

(3) その他

ア 小規模校について

(ア) 小規模校の課題が指摘されているにもかかわらず、東小沢小の現状に対し、目に見える対策を取っていない。(東小沢)

イ 児童生徒の精神面でのケアについて

(ア) 環境を変えることが、子どもたちの心身の負担にならないように配慮してほしい。(中小路)

(イ) 新しい環境、新しい友だちになじむのに時間のかかる子どもにとって、負担が大きいのではないか。(会瀬)

(ウ) 親として、少しでも子どもの心の負担は小さくあってほしい、新しい環境になったとしても、クラスのみならずスムーズになじめるような環境づくりをしてほしい。(会瀬)

ウ 計画の策定について

(ア) 小中学校のうち、どちらから先に取り組もうとしているのか。来年には具体的な学校名や時期を示してほしい。(仲町)

(イ) 今後も少子高齢化は加速すると思う。5～10年後を見据え、適正な計画をお願いしたい。(塙山)

(ウ) たくさんの意見を聞いてほしい。いろいろな機会をとおして現在の問題や「適正化」について意見を聞いてほしい。(田尻)

(エ) 来年度に方向が決まると、廃校になる学校へは次年度から新入生が入らない恐れがある。決定、公表、移行の時期は慎重に検討してほしい。(東小沢)

エ その他

(ア) 学区の見直しについて

- ・「小から大にではなく、大から小に」学区を広げてもいいのではないか。(中小路)
- ・極少人数になり統合せざるを得ない状況になるまでは、人数を維持できるよう学区の見直しで対応してほしい。(中小路)

(イ) 統合について

- ・小中一貫教育の導入を図るべきだ。(東小沢)
- ・児童数の減少の中で、学習面、生活面、学校運営面などのデメリットを考えると統合していくことは理解できる。(会瀬)

(ウ) 教員について

- ・教員の配置を増やしてほしい。(滑川、中小路、田尻)
- ・教員の業務の軽減を図ってほしい。(田尻、日高)

(エ) P T A活動について

- ・実際の統合の際は、活動内容の摺り合せなどについてのマニュアルがあった方がよい。(会瀬)
- ・ある程度人数がいる方が活動しやすい。働いている親でも参加しやすいP T Aであってほしい。(大久保)

(オ) 財政について

- ・統合によるコスト削減は期待できないのではないか。(中小路)
- ・先送りするほど財政的に余裕がなくなる中で検討しなければならなくなる。建物を減らせばコストは下がる。(金沢)

(カ) その他

- ・3クラスある中学に通わせていても部活の種類が少ないと思うことがある。(会瀬)
- ・人口減少に対する政策に取り組んでほしい。(中小路、金沢)

以 上